

環境調査結果のお知らせ

平成28年11月17日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22°C、塩分34、溶存酸素量6~7mg/lでした。
透明度は4~6mで、有害種のミリオネクタ・ルブラが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温21.6~22.2°C、塩分34.0~34.4でした。

前回調査時(H28.10.27)と比較して、水温は全層で3.0~3.2°C下降しました。また、水温は野見湾内の観測点で表層から底層までの差がほとんど無い状態になっていました。塩分は表層から10m層で0.1上昇しました。塩分も水温と同様に野見湾内の観測点で表層から底層までの差がほとんど無い状態になっていました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.7~6.9mg/lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.2~0.7mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0~6.0mでした。

検鏡の結果、貝類に有害なミリオネクタ・ルブラが最高で26cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

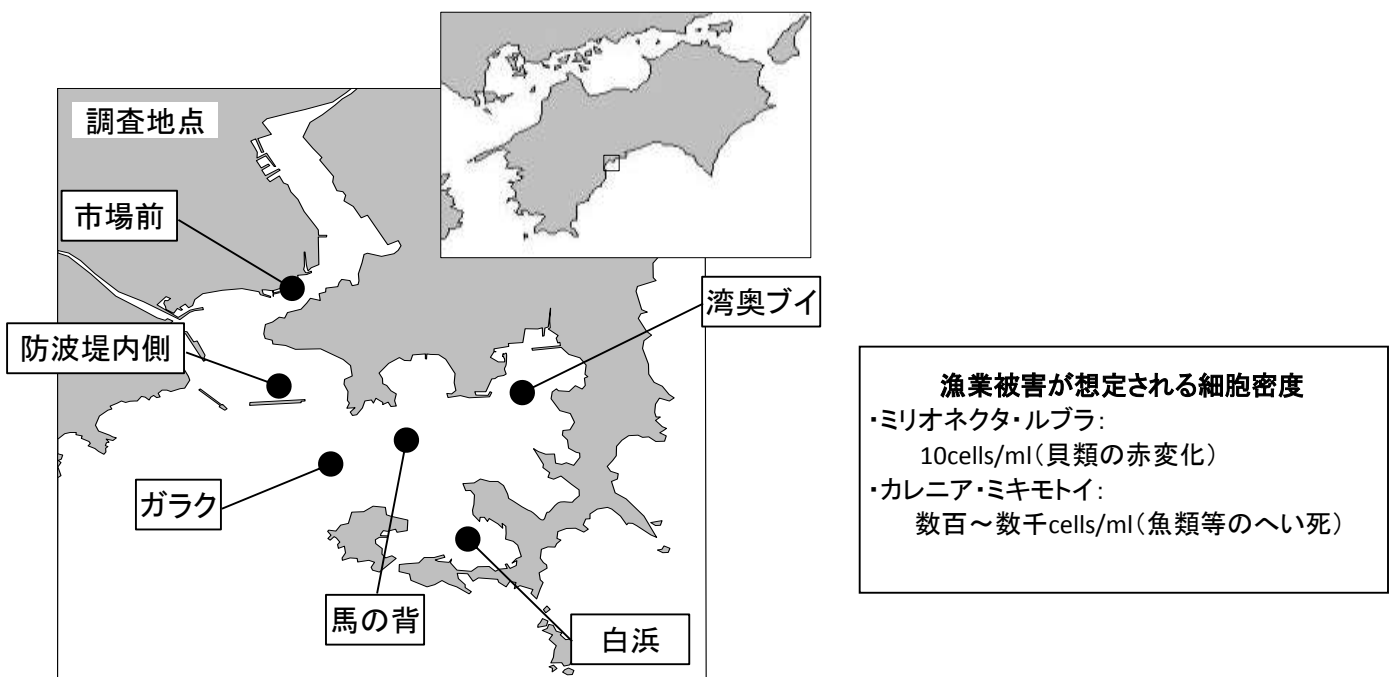


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H28.10.27)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	21.8	22.0	22.2	22.0	21.6	22.0	25.1	▲ 3.1	21.9
2m	21.8	22.1	22.2	22.0	21.6	22.0	25.1	▲ 3.1	22.1
5m	21.8	22.1	22.2	22.0	21.6	22.0	25.0	▲ 3.0	22.2
10m	21.8	22.0	22.2	22.0	21.6	22.0	25.0	▲ 3.0	—
B-1m	21.8	21.9	22.2	21.7	21.9	22.0	25.1	▲ 3.1	22.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H28.10.27)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.3	34.4	34.4	34.4	34.0	34.3	34.2	0.1	33.9
2m	34.3	34.4	34.4	34.4	34.0	34.3	34.2	0.1	34.1
5m	34.3	34.4	34.4	34.4	34.1	34.3	34.2	0.1	34.2
10m	34.3	34.4	34.4	34.4	34.1	34.3	34.2	0.1	—
B-1m	34.3	34.3	34.4	34.3	34.2	34.3	34.3	0.0	34.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H28.10.27)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.8	6.1	5.9	6.3	6.9	6.3	6.1	0.2	6.7
2m	6.7	6.1	5.7	6.3	6.8	6.2	6.0	0.2	6.6
5m	6.6	6.1	5.7	6.2	6.8	6.2	5.9	0.3	6.5
10m	6.6	6.1	5.8	6.3	6.7	6.2	5.8	0.4	—
B-1m	6.5	6.1	5.8	6.4	6.5	6.2	5.5	0.7	6.4

※湾奥ブイ・馬の背・白浜・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	白浜	津波防波堤 内側	市場前
水深	17.8	24.6	15.5	18.3	16.5	11.0
透明度	5.0	4.0	6.0	5.0	5.0	3.0
前回(9/8)	4.3	3.0	4.1	—	3.8	2.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ミリオネク タ・ルブラ	カレニア・ ミキモトイ	ジャイロ ディニウム 属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	19	0	5	650
	2m	26	0	4	10
	5m	21	0	5	0
馬の背	0m	2	0	4	10
	2m	9	0	4	50
	5m	9	0	2	120
ガラク	0m	0	0	1	10
	2m	1	0	3	30
	5m	0	0	2	10
津波防波 堤内側	0m	0	0	2	10
	2m	0	0	1	0
	5m	0	0	3	150
市場前	0m	0	0	1	10
	2m	0	0	4	0
	5m	0	0	1	60